BUFFALO

フォーマット/
メンテナンスガイド

< 注意 >

本書では、外付ハードディスク全般の説明しています。そのため、お使いの製品によっては、対応していない OS の記載があります。あらかじめご了承ください。

Q&A　インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

- Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
  C: ハードディスク　　　　　D:CD-ROM ドライブ
- 「IEEE1394」、「i.LINK」、「FireWire」は同じインターフェースです。本書では、「i.LINK」と「FireWire」を「IEEE1394」表記しています。
- 文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- 本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。
- 一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1 フォーマット（初期化）

本製品をフォーマット（初期化）する方法を説明しています。

フォーマット（初期化）とは

フォーマットとは、ハードディスクをお使いのパソコンで使用できるようにする作業です。
本製品は、出荷時に NTFS 形式（GPT パーティション）でフォーマットされていますので、Windows 7/Vista でお使いになる場合はそのままお使いいただけます。Windows XP や Mac OS でお使いになる場合は、本書の手順や製品付属のマニュアルに記載の手順でフォーマットしてからお使いください。

フォーマットの形式

フォーマットにはいくつかの形式があり、お使いの OS によって認識できる形式が異なります。
本製品をフォーマットするときは、以下のいずれかの形式でフォーマットしてください。

⚠注意 お買い求めいただいた製品によっては、フォーマットする形式を指定しているものがあります。製品に付属のマニュアルを参照して、最適な形式でフォーマットしてください。

《NTFS 形式》
　Windows 7/Vista/XP 専用の形式です。4GB 以上のファイルも扱えます。

《FAT32 形式》
　Windows と Mac OS のどちらでも使用できる形式ですが、4GB 以上のファイルを扱えません。

《Mac OS 拡張形式》
　Macintosh 専用の形式です。4GB 以上のファイルも扱えます。Windows では使用できません。

	NTFS 形式	FAT32 形式	Mac OS 拡張形式
Windows 7/Vista/XP	◎	○	×
Mac OS X 10.5 以降	△	○	◎
Mac OS X 10.4	△	○	◎

◎：読み込み、書き込みとも可能です。
○：読み込み、書き込みとも可能です（**4GB 以上のファイルは扱えません**）。
△：読み込みのみ可能です。書き込みはできません。
×：使用できません（認識しません）

フォーマット時のご注意

● **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**

ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

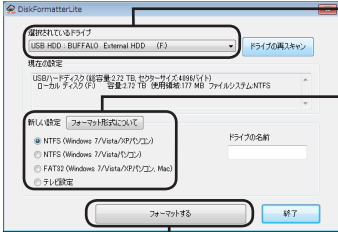
● **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、ハードディスクの使用環境をもう一度よく確認してください。**

ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、フォーマットを実行するディスクが何台目のディスクか、パーティション名は何か必ず確認しておいてください。

↘次へ **使いかたによってフォーマット方法が異なります。次のページを参照してください。**

- NTFS/FAT32 形式でのフォーマット ……………………………【P4 】
- Mac OS 拡張形式でのフォーマット ……………………………【P6 】

NTFS/FAT32 形式でのフォーマット

⚠注意
- **Windows パソコンでフォーマットしてください。Macintosh でフォーマットすると、正常にフォーマットできないことや、フォーマットするのに時間がかかる場合があります。**
- **付属ソフトウェア「DiskFormatterLite」でフォーマットしてください。Windows の機能（ディスクの管理）でフォーマットすると、フォーマットでないことや、正常に認識できないことがあります。**
- **FAT32 形式でフォーマットした場合、保存できる 1 ファイルの最大容量は、4GB となります（FAT32 形式の制限です）。**

Windows パソコンでフォーマットします。フォーマットには、付属ソフトウェア「DiskFormatterLite」を使用します。以下の作業を行う前に、DiskFormatterLite をインストールしてください。ここでは例として、本製品の出荷時状態から再度フォーマットする手順を説明します。

フォーマット方法

⚠注意 **以下の手順を行うと、外付ハードディスク内の全てのデータが消去されます。**

必要なデータは、パソコンなどにバックアップ（コピー）してください。

1 **パソコンにフォーマットする外付ハードディスクを接続します。**

2 **[スタート]-[すべてのプログラム]-[BUFFALO]-[DiskFormatterLite]-[DiskFormatterLite] を選択します。**

3

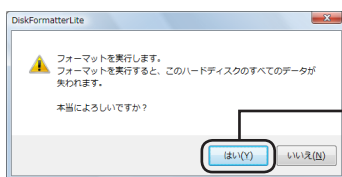
① フォーマットするハードディスクが表示されていることを確認します。

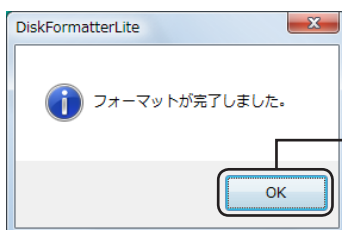
② フォーマットする形式を選択します（以下の表を参照）
※ドライブの名前（ボリュームラベル）を設定したい場合は、「ドライブの名前」の欄に入力してください。

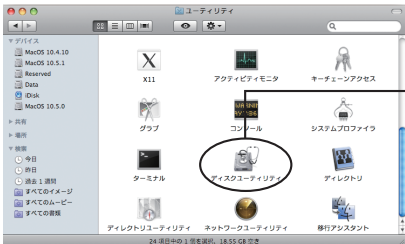
③［フォーマットする］をクリックします。

次のページへ続く

NTFS (Windows 7 /Vista/XP パソコン)	Windows 7/Vista/XP パソコンの形式でフォーマットします。Mac では認識されません。 ●セクターサイズ 3TB 以上のモデルの場合：**4096 バイト** 2TB 以下のモデルの場合：**512 バイト** ●パーティションのスタイル：**MBR** ●ファイルシステム：**NTFS**
NTFS (Windows 7 /Vista パソコン) ※ Windows 7/Vista で 3TB 以上のモデルを接続した場合のみ表示されます。	Windows 7/Vista パソコンの形式でフォーマットします。Windows XP パソコンや Mac では認識されません。 ●セクターサイズ：**512 バイト** ●パーティションのスタイル：**GPT** ●ファイルシステム：**NTFS**
FAT32 (Windows 7/Vista/XP パソコン, Mac)	Windows 7/Vista/XP パソコンや Mac での形式でフォーマットします。1 ファイル 4GB 以上のデータは保存できません（FAT32 形式の制限です）。 ●セクターサイズ 3TB 以上のモデルの場合：**4096 バイト** 2TB 以下のモデルの場合：**512 バイト** ●パーティションのスタイル：**MBR** ●ファイルシステム：**FAT32**
テレビ設定	テレビで初期化できるように、フォーマットしていない状態に戻します。この設定にした場合は、テレビで初期化してください。Windows や Mac では認識できません。 ●セクターサイズ：**512 バイト** ●パーティションのスタイル：**無し** ●ファイルシステム：**無し**

4

フォーマットが始まります。手順 **5** の画面が表示されるまでお待ちください。

5

以上でフォーマットは完了です。

Mac OS 拡張形式でのフォーマット

本製品を Mac OS 拡張形式でフォーマットする手順を説明します。Mac OS のバージョンによって、手順が異なります。お使いのバージョンの手順を参照してください。

⚠注意
- **Windows をお使いの場合は、Mac OS 拡張形式でフォーマットできません。NTFS 形式や FAT32 形式でフォーマットしてください。**
- **本製品を複数の領域に分けて使用できないことがあります。その場合は、領域を分けずにお使いください。**
- **詳しい手順は、Mac OS のヘルプを参照してください。**

Mac OS X 10.5 以降

1 **デスクトップにある起動ボリュームのアイコン（[Macintosh HD] など）をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

次のページへ続く

以上で本製品の初期化は完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

メモ 「Time Machine でバックアップを作成するために"（ボリューム名）"を使用しますか？」と表示されることがあります。Time Machine を使用してパソコンのバックアップを本製品に保存する場合は［バックアップに使用］をクリックし、Time Machine を設定してください（P12）。Time Machine を使用しない場合は［キャンセル］をクリックしてください。

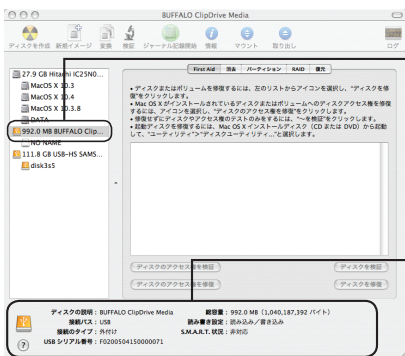
Mac OS X 10.4

1 **デスクトップにある起動ボリュームのアイコン（[Macintosh HD] など）をダブルクリックします。**

2 **[アプリケーション] フォルダの中の [ユーティリティ] フォルダを開きます。**

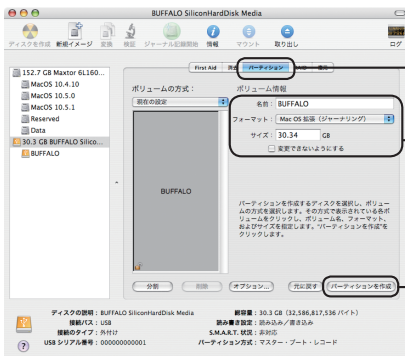
3

［ディスクユーティリティ］をダブルクリックします。
［ディスクユーティリティ］が起動します。

4

①フォーマットするディスクをクリックします。

②フォーマットするディスクの情報を確認します。ディスクの情報は製品によって異なります。

5

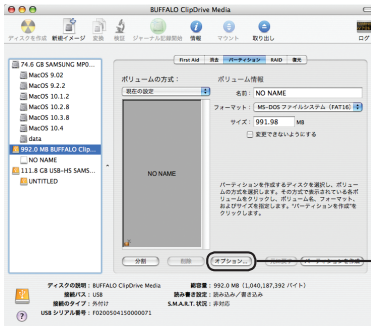
①［パーティション］をクリックします。

②ボリューム情報を設定します。
フォーマットは通常、[Mac OS 拡張（ジャーナリング）] を選択してください。

③［パーティションを作成］をクリックします。

次のページへ続く

ボリューム情報を設定できないときは？（Mac OS X 10.4 以降のみ）

以下の手順で、パーティション方式を Apple パーティション方式に変更します。

1

[オプション] をクリックします。

2 Apple パーティション方式を選択します。
<Mac OS X 10.4.6 以降の画面 >

① [Apple パーティション方式］を選択します。

② [OK］をクリックします。

<Mac OS X 10.4.0 ～ 10.4.5 の画面 >

① [Apple パーティション方式］を選択します。

② [OK］をクリックします。

6

[パーティション]をクリックします。

以上で本製品のフォーマットは完了です。ディスクユーティリティを終了してください。

2 メンテナンス

バックアップやエラーチェックなど日ごろのメンテナンスについて説明します。

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。

メモ Mac OS X 10.5 以降には、「Time Machine」というバックアップ機能があります。Time Macine でバックアップ方法は、P12「Time Machine でバックアップする」を参照してください。

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

- Blu-ray ディスク
- HD DVD
- DVD-R/RW
- DVD+R/RW
- DVD-RAM
- CD-R/RW
- 光磁気ディスク（MO）
- 増設ハードディスク
- ネットワーク（LAN）サーバー

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）

Windows や Mac OS X には、ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ ・エラーのチェック方法は、Windows や Mac OS X のヘルプやマニュアルを参照してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを、最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると、ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

注意 ・ **シリコンハードディスクは構造上、断片化しても速度は低下しません。そのため、デフラグの必要はありません。**

メモ ・最適化の方法は、Windows のヘルプやマニュアルを参照してください。
・Macintosh には、ハードディスクを最適化するためのツールは付属していません。ディスクの最適化には、市販のユーティリティーを使用してください。

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトウェアではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

Time Machine を使ってバックアップする（Mac OS X 10.5 以降のみ）

Mac OS X 10.5 以降に搭載されたバックアップ機能「Time Machine」を設定して、本製品にバックアップを作成する方法を説明します。

設定する前にご確認ください

Time Machine の設定を行う前に知っておいていただきたい注意事項を記載しています。設定を行う前にご確認ください。

●本製品を出荷時状態でお使いの場合や、Windows でも使用されていた場合は、Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してください。
FAT32 形式や NTFS 形式でフォーマットされたハードディスクを使用すると、Time Machine 設定時などにエラーが発生することがあります。Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してから設定を行ってください（P6 参照）。

●Time Machine 設定時、本製品に保存されたデータは消去されることがあります。
お使いの環境によっては、Time Machine の設定時に本製品が初期化されることがあります。Time Machine の設定を行う前に、本製品内のデータをバックアップすることをお勧めします。

●本製品は Time Machine 専用のハードディスクとして使用することをお勧めします。
本製品を Time Machine のバックアップディスクに設定した場合、本製品に保存されたデータはバックアップされません。また、Windows では使用できませんので、ご注意ください。

●Time Machine の設定後は、本製品の「Backups.backupdb」フォルダのデータを削除しないでください。
Time Machine でバックアップしたデータは、本製品の「Backups.backupdb」フォルダに保存されます。Time Machine で保存されたデータを削除した場合、バックアップを復元できないことがありますのでご注意ください。

●本製品を取り外しているときはバックアップできません。
Time Machine の設定すると、パソコンの使用中は定期的に本製品へバックアップを行います。本製品を取り外している間は、バックアップされませんのでご注意ください。

設定する

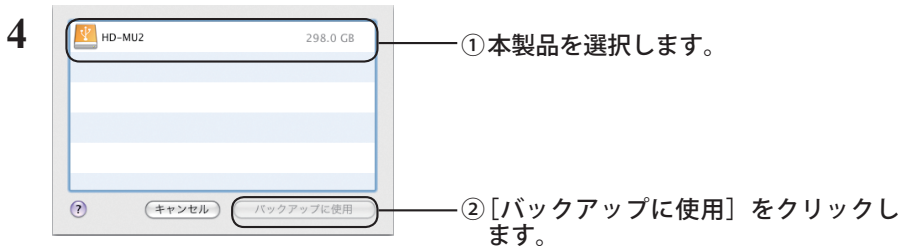
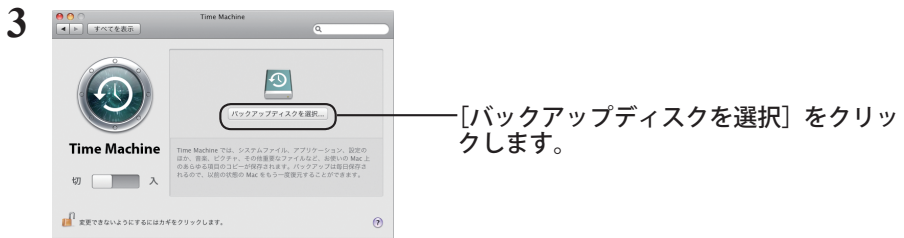
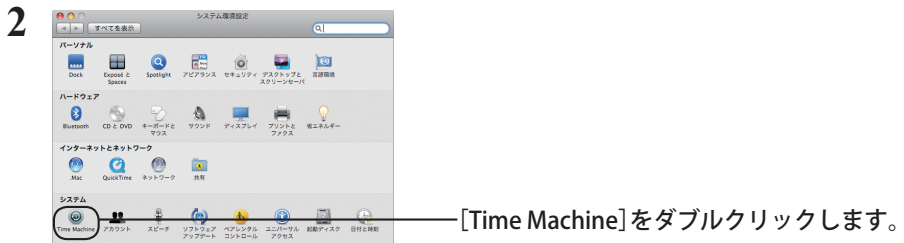
Time Machine の設定手順を説明します。

1 **アップルメニューから [システム環境設定] を選択します。**

2

[Time Machine] をダブルクリックします。

3

4

以下の画面が表示されたら？

本製品の初期化が必要です。[消去] をクリックして、画面に従って初期化してください。

⚠注意
- **本製品内のデータは全て消去されます。本製品内に必要なデータがある場合は、[消去] をクリックする前にバックアップしてください。**
- **「Time Machine のエラー」と表示された場合、本製品が Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化されていない可能性があります。本製品を取り外した後、再度接続し、Mac OS 拡張形式（ジャーナリング）で初期化してください。初期化が完了したら、再度手順 1 からの手順を行ってください。**

5

以上で設定完了です。設定後、自動的にバックアップが始まります。
バックアップは、バックグラウンドでおこなわれるため、Mac OS の操作やシャットダウンなどは、通常通り行えます。
復旧を行う場合やバックアップから除外したい項目を設定する場合は、Mac OS のヘルプを参照してください。